

# 俳句フォト夏目漱石の旅 2023 後期 作品募集

## 課題部門 後期課題写真

次の写真を季題として俳句のみをご投稿ください。  
■課題部門の投句は各季題ごとに1句とします。高校生の部 共通。

### 秋1 香椎宮の綾杉 (福岡市東区)



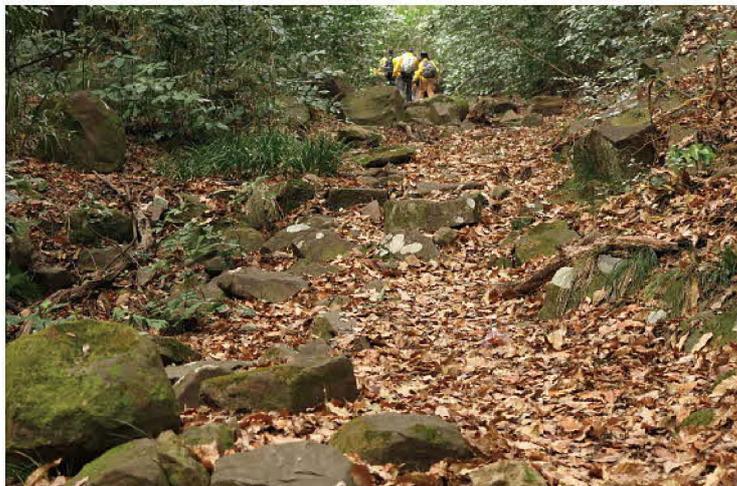
熊本時代の1896年9月、妻鏡子との旅行で訪れ「秋立つや千早ぶる世の杉ありて」と詠んだ境内のご神木。約1週間ほどで博多、大宰府、二日市などを巡る新婚旅行だった。

### 秋2 東京大学構内の「三四郎池」



加賀藩上屋敷「育徳園」の池で形から「心字池」と呼ばれていたが漱石の『三四郎』に由来し、この名で呼ばれている。

### 冬1 鎌研坂 (かまとぎざか・熊本市)



『草枕』の冒頭「山路を登りながら・・・」の場面を想起させる岩肌剥き出しの急坂。熊本市郊外から漱石の足跡に沿った「草枕の道」最初の難所だが趣も最高。

### 冬2 『草枕』の「那美」前田卓の墓



武蔵野の名刹「平林寺」(埼玉県新座市)にある。同院で学び『宗教的人間』など著した弟利鎌の早世に際し、卓(ツナ)が自らの碑銘も刻んで生前に建立した姉弟の墓。

★後期 (秋・冬) 締切=2024年 2月29日

★創作部門/自作写真と俳句の組合せ

※創作部門の投稿は各季3点まで。合成の有無不問。

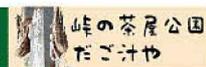
★全部門 一般・高校生の部 共通 ★すべて 応募無料



★応募先/「漱石・草枕の里」-「俳句フォト夏目漱石の旅」

<https://kusamakura.jp> 応募フォームおよび歴代作品有り

・お問合せ先/草枕交流館(熊本県玉名市天水町小天) TEL 0968-82-4511



●全部門全作品から選ぶ  
年間最優秀作品1名様に

## 草枕大賞

★小天温泉「那古井館」提供  
1泊2日ペア宿泊券

●一般の部正賞の副賞は

## 「草枕の刻」

★「生搾りみかんジュース」  
または「漱石が舐めたジャム」